

	<p>金沢大学 医学系分野</p>
<p>学部・研究科名</p>	<p>医薬保健学域（医薬保健研究域）（第1年次：112 第2年次：5） 医薬保健学総合研究科（M：15 D：76） ※薬学系分野、保健学系分野を除く。 がん進展制御研究所</p>
<p>沿革・設置目的</p>	<p>加賀藩彦三種痘所の流れを汲み、医学に関する教育・研究を行うことを目的に、第四高等学校医学部、金沢医学専門学校、金沢医科大学を経て、昭和24年（1949年）金沢大学医学部として設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 新制金沢大学設置と同時に医学部設置（平成20年（2008年）医薬保健学域に改組）</p> <p>昭和30年（1955年） 大学院医学研究科設置（平成24年（2012年）に医薬保健学総合研究科に改組）</p> <p>昭和42年（1967年） がん研究所設置（平成23年（2011年）にがん進展制御研究所に改称）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成23年（2011年） がん進展制御研究所が共同利用・共同研究拠点に認定</p>
<p>強みや特色などの役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金沢大学の理念等に基づき、グローバルに活躍できる専門的職業人として、人間性を重視し、高度で総合的な能力を有して地域社会のみならず世界に貢献できる医師及び医学研究者の養成を積極的に推進する。 ○ 目的重点型・基礎臨床融合型の4専攻分野（脳・がん・循環・環境医科学）に関する先導的研究、がんの転移・薬剤耐性機構に関する共同研究等を始めとする、基礎医学、臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 治験拠点医療機関としての取組実績を活かし、高度で実施に困難を伴う治験等の実施を推進し、日本の医療水準の向上及び日本発のイノベーション創出を目指す。 ○ 北陸地方の各県・各大学との連携のもと、地域の医療人の専門職能力開発や生涯教育の充実、がん医療の専門的知識・技能を有する医師を輩出する等により、先進的医療の人材育成と均てん化に貢献する。 ○ 特定機能病院、都道府県がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター等としての取組を通じて、石川県等における地域医療の中核的役割を担う。